

# 本願寺別院新總長

## 足利師けさ來布

### 多數信徒の出迎裡に

### けさ横濱から入港の大洋丸で

本派本願寺布哇別院總長として來布した足利瑞義氏、新郵船ホノルル出張所長蘆野正氏等に乗せた大洋丸は今五日早朝横濱から入港、

午前八時ごろ第七棧橋に着いた、同船には右の外、ハワイ馴染の横濱サムライ商會主野村洋三氏夫妻、日滿旅行を終つた元本紙記者中島覺君、滿鐵技師

市原善積、鐵道省技師佐藤元、帝國生命保險醫員一色嗣武、貿易商南里秀夫、銀行員田所健、貿易商高橋憲吉、聖林映畫俳優ジョン・ハリデイの諸氏が乗つてゐた



師義瑞利足

既に物故したが我が佛教界に於ける有名な學徳兼備の勳學足利義山和上である、尙ほ同師は周知の如く今村清子夫人の伯父に當つてゐる

## 今村師遺業の完成に努める

### 事情を見て第二世間の教線擴張にも

OCT 5 1933 足利新總長の抱負

足利總長出迎へのため佛青婦人會、護持會及び各學校等本願寺別院關係各團體代表者ら數十名が第七棧橋附近に押掛け一しきり

大賑ひを呈した、船中に足利新總長を訪へば左の如く語る

上陸前 船中に於て宮川開教使の紹介で左の諸氏と接見、挨拶した  
今村夫人、安井美然、龍溪玄深、大濱太、梅原開教使、植田政市、村田龍一、ハント開教使、丹生實榮師  
足利總長略歴  
元本願寺執行長  
足利瑞義師は廣島縣深安郡西中條村勝願寺住職で今年六十三歳、前に佛教大學々長執行長、眞宗學研究所長を歴任した、同師の嚴父は

自分は二十數年前來布したことがあり當時モロカイを除き殆んど各島を訪問した、しかしその當時とは事情が違つてゐます、よう、故今村師とは龍谷大學の前身普通教會在學中から知つてゐます、自分は先づ今村師の遺業を繼承してその完成に努めたいと思つてゐます、當地の事情もわかつてから

徐々に 第二世の間及び

びその他の傳道事業なども考へて見るつもりです

次いで日本宗教界の現狀に言及したが『反宗教運動などは殆んど問題にならず本願寺は他の宗派とも圓滿な關係を持続し教線擴張に努



て利益があるかどうか、それが問題ではなからうか。第一世がハワイで漁業に這入つたのは、多くは日本で同業に従ふたものであり、或は往時他の職業より漁業の方が利益が多かつたのでこれに轉業したものである。第二世は第一世とは事情を異にし、第一彼等は經驗を有して居らぬ、又漁業が他の職業より現在には有利であるとも言はれぬ。そこへ第二世を引き入れやうとするのだから困難である。

あれだけ歸農論が叫ばれても、農業に這入つて行くものが尙ほ少ない、漁業もこれと酷似し、そうして海上の仕事をだけに危険が多く、農業よりも尙ほ一層の困難を有つてゐるのである。

現在ハワイの漁業家の約二割又は三割は第二世漁業家である、彼等は漁業を有利と見て這入つたかと云ふと其うではなく、彼等の多くは陸で失業して仕方なく海の方に移つたものであるとは當業者の告白するところである。

大体以上のやうな状態を考へて見て、何人も最後に到達する結論は、漁業をもつと有利にしなければと云ふことである。漁業が有利であれば、第二世は招かずしても這入つて来るに違ひないのである。

漁業の有つ状態は農業の有つ状態と非常に酷似してゐる。農業でも一方に栽培收穫を科學的に改善し、他方に従来の販賣制度を改善することが唯一の發展策と認められて、目下頻りに此の運動が進んでゐる。漁業の方でも現在の漁獲法をもつと科學的にし、一方で販賣制度を改善するのでなくしては將來の發展は望まれない。

而し何をするにも結局は人物である、殊に革新時代には人物即ちリーダーを必要とする。日本人方面が漁業の指導的人物の養成に一生懸命にならなければならぬ。

日印貿易の調整にいて友邦日本實業界の代表と隔意なき意見の交換を遂げる機会を得たのを欣快とする旨を力説し、日本側首席代表倉田敬三氏謝辭を述べ極めて友誼的な雰囲気のうち直ちに日印綿業問題の具体的細目について卒直な意見の交換を行つたが左會談の結果更に五日より

### 先づ關稅引

## 印度側の調意

派生的問題は後に案

【東京五日聯合】三日の日印第四次會商に於て印度側は日本案を受諾する場合日本印棉不買、爲替ダンピング、雜貨の輸出および印度の銑鐵、米の關稅について逆襲的の質問戰法に出て來たが右に對する

印度側の反問に對商劈頭に於て澤田首席代表より回答することとなつた一、わが國の印棉不買は印度の排日貨的關稅の暴擧による國民的憤激の所産であつて帝國政府の關知するところにあらず、從つて斯かる企てについて政府より云々すべきでない、先に帝國政府の提案

### 委任統治領に對しては

## 聯盟にも權能無

アレン英國下院議員

何者と雖も變更

【ケニヤ、ナイロビ四日聯合】英國保守黨下院議員アレンギニオ商業會議所主催の下に開かれた會合に於てに對する英當局の見解を左の如く披瀝し注目を惹いた。予は舊獨逸植民地たるタンギニオ(英國の委任統治チ五世陛下であり如何なる者もは國際聯盟と雖も